

## 早稲田大学研究データ管理・公開ポリシー

早稲田大学（以下「本学」という。）は、「学問の独立」、「学問の活用」および「模範国民の造就」の建学理念に則り、学問の使命に対する高い理想を持ち、人類の福祉と世界平和に貢献することを目的として研究活動を推進してきた。本学は、上記の理念を踏まえ、研究活動の基盤となり得る研究データを適切に管理し、公開および利活用できる仕組みを整備することで、本学における研究活動をより一層深化させ、オープンサイエンスの社会的要請に応えることが責務であると考え。そこで、本学は研究データを適切に管理し、公開および利活用するためのポリシーを以下のとおり定める。

### 1. 研究データの定義

本ポリシーにおける「研究データ」とは、研究者等が研究活動を行う過程または結果として収集または生成されたデータを指す。

### 2. 研究データの管理

研究者等は、それぞれの研究分野における特性を踏まえ、国際的規範、国内外関係諸法令、学内諸規約および共同研究契約等を遵守の上、研究データを適切に管理する。

### 3. 研究データの公開・利活用

研究者等は、それぞれの研究分野における特性を踏まえ、国際的規範、国内外関係諸法令、学内諸規約および共同研究契約等によって制限される場合を除き、研究者等が保存する研究データを可能な限り公開し、その利活用を促進する。

### 4. 本学の責務

本学は、研究者等が研究データを適切に管理し、公開および利活用するための環境を整備する。

### 5. ポリシーの見直し

本ポリシーは、社会情勢や研究活動を取り巻く環境の変化等に応じて、適宜見直しを行う。

以 上